

〇・〇パーセントを廻る問題

沖縄県 アミークスインターナショナル中学校 一年 町田 百優

みなさんは、「〇・〇パーセント」という数字が何を表すのか、知っているだろうか。この数字は、「地球上の水のうち、人間が使うことのできる水の割合」だ。地球上の全ての水を浴槽一杯分とすると、私たちの使える水は、わずか小さじ一杯分程度。私たちはこの水を、地球上にいる全人類、つまり約八十億人、そしてそれ以外の動物たちとも分け合っているかなければならない。私たちがあたり前の様に使っている水は、生きるためには必要不可欠なものにも関わらず、意外に貴重なのだ。

現在、約四十億人、地球上の約半数が水不足に悩まされていると言われている。沖縄でも、昨年はダムの水が少なくなり、さんざんニュースに取り上げられていた。沖縄では、水不足は身近な問題といえるだろう。さて、ここで問題。最近騒がれている水不足、その原因が何か、みなさんは知っているだろうか。答えはいろいろあるが、大きな原因としては「地球温暖化による異常気象」が挙げられる。異常気象による雨の降りすぎ、降らなすぎなどが、水不足を引き起こしている。水不足により、農作物が育たず、値上がりしたり、断水が行われたりすることもある。まだ日本国内や一部地域ですんでいるためそこまで大事にはなっていないが、国単位となるとそうはいかない。ソマリアでは、過去四十年間で最悪の干ばつ見舞われ、水不足が深刻な問題になっている。ソマリアだけではない。アフリカなどの地域では、水不足が進行している。そして、そのような地域では、決してきれいとは言えない水（ほぼ泥水）を入手するために、往復何時間も炎天下の下歩く、なんてこともめずらしくない。シリアなどの地域では、水不足によって内戦が起きている。水不足は、私たちの想像を超えた問題になっているのだ。

水不足を解消するために、私たちがすべきこと。まず一つ目は、「ムダ

に使う水を減らす」こと。例えば、手を洗っている時、水を出しすぎない、など。日常に目を向けると、意外に水をムダに多く使っている瞬間が沢山ある。それをなくすことで、水を有効的に使うことができ、水道代節約にもなる。

二つ目は、「二酸化炭素の排出量を削減する」ことだ。水不足は、地球温暖化が間接的な原因となっている。電気を使う量を少なくする、ゴミをなるべく出さない、なども、最終的に水不足を解消する手助けとなる。

そして三つ目、「沢山の人」にこの問題に関心を持ってもらうこと。これが一番重要だ。水不足は一人ではどうにかできるような問題じゃない。先ほど話した二つの方法も、一人でやると効果が薄い。でも、沢山の人と、例えば百人で同じことをやったら、効果は一人でやった時の百倍。水不足を解消するには、沢山の人達が協力する必要がある。そのためには、沢山の人にこの問題について関心を持ってもらわなくてはならない。みなさんも、もしこれを見て、少しでもこの問題に関心がわいたなら、他の人たちにも、このことについて話してほしい。